◇平和事業の推進
◇観光資源になる幸地グスク等の整備

仲宗根健仁　議員

問 映画「ひまわり」の中央公民館での上映が7月14日に予定されています。一人でも多くの児童生徒や一般町民に見てもらいたい映画です。町としての取り組みは。

総務部長 広報にしはら6月号及び町ホームページに掲載しています。ポスターを公共施設、各小中学校、町内高校、大学へ掲示し、チラシも2，000枚を公共施設等に置くほか、平和音楽祭でも配布予定です。同音楽祭には映画の主題歌を歌っているシベリアン・スカンクも出演し、映画「ひまわり」の告知を行うほか、横断幕、懸垂幕の設置も予定しています。

教育部長 映画観賞の広報を学校だより、学校ホームページ、じんじんメール、PTA広報新聞、学年及び学級通信等で周知させ、多くの児童生徒、保護者、地域の方々が観賞してもらうよう取り組んでいきたい。

問 観光資源になる幸地グスク、刻時森、棚原グスク、イシグスク等の整備計画は、内間御殿の整備を最優先に進め、その進捗状況を見ながら調査や整備の時期を検討したいとの答弁でした。内間御殿の整備が最重要課題と認識しているが、他の文化財については調査の検討すらその後でというのは腑に落ちない。構想的なものは持ち合せているのか。

教育部長 内間御殿の整備事業を最優先に、その進捗状況などを見ながら、ある程度のめどが立った時点で重要なグスク等の基本構想や基本計画の策定について検討していきたい。青写真はこれからです。

問 内間御殿の整備事業と並行では構想を練るゆとりさえもないということか。

教育部長 当分は、文化財周辺の除草、標柱解説板の設置など、文化財の価値を損なわないための周辺整備などを行っていきたい。

問 今すぐ調査・着工をという事ではない。内間御殿の整備を進めながら、他の文化財保護等の検討や補助制度の有無を調べるゆとりは無いということか。ゆとりの無さが少ない職員数に起因するものならば、職員定数管理に問題がある。内間御殿の整備が終わってからでは遅すぎる。

教育部長 同時並行して調査研究は進めていきたいと思います。補助制度など、メニューがないかどうか、調査研究をこれから進めたい。

幸地グスク

◇新庁舎周辺300m圏内の農用地の市街地見直しを

大城好弘　議員

問 平成24年度都市基本計画が見直され、中心核、行政ゾーン周辺である小波津及び一部の安室地域が市街地から農振農用地へ変更された。庁舎建設が進むなか地域から苦情が多く、その整合性が問われて居ります。変更理由、経緯の詳細な説明を求める。

建設部長 平成14年に策定された都市マスは、町の将来人口を平成22年には四万四五〇〇人と想定していましたが、この見直しでの見込みで三万七〇〇〇人となったため、市街化予想面積が減となっております。

問 新庁舎周辺三〇〇m圏内の農振農用地から市街地へ五年以内の見直しが必要だと思うが。

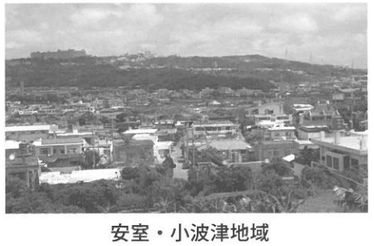
建設部長 新庁舎ができますと、その周辺も含めて将来的には市街地の検討が必要だと考えて居ります。小学校を中心として、まちは形成されます。次回の都市マス見直し等含めて、範囲について検討したいと思います。

問 都市マスで検討するとのことだが、十年後の見直しになると南小学校周辺は三〇年間もそのままの状況、小波津も十年間そのままということで周辺地域の住民は納得出来ない。町長がトップダウンで見直しを県と調整し五年見直しを行うべきと思うが。

町長 土地区画整理事業がなかなか進められない背景にはいろいろな思いの違いが出てきたと思います。今後は都市的インパクトによって宅地的な傾向で利活用が地権者に求められていると思いますので、土地利用、西原町のブランドデザインを考えていきたいと思います。西原町の中心核の形成の状況が変わってきますので、早い時期に土地利用の見直しをすすめていきたいと思います。

問 南小学校も創立20周年になりますが、その周辺の土地利用が問われて居ります。安室、小波津地区の農用地を農地基盤整備事業を導入して、一部農家住居地を確保し、農用地を利用促進すべきと考えるが。

副町長 平成13年ごろから土地改良事業を導入した経緯がございます。この要件のなかに百％の同意が必要であるため同意が得られず断念したところであります。整備面積の三割が確保し、分家住宅として利用も出来ますので、意向調査を含め、市街地の中心核との土地利用を検討します。



安室・小波津地域

◇文教のまちに恥じない教育振興を
◇歌碑建立に向けた検討の進捗状況は

有田　力　議員

問 新教育長の教育振興についての考えを伺う。

教育長 小・中学校の教育は知・徳・体の三つのバランスがとれた生きる力の育成に全力で取り組みたい。学習の遅れの対応は、今年度から配置の学習支援員を活用したい。心的に不安定な児童生徒については、教育相談担当、中学校に配置されているカウンセラー、町の教育相談室を活用し対応強化を図っていきたい。心因性の不登校は長引く傾向があるので学校からの課題の提供、回収、点検及び評価の対応を進めたい。いじめ問題は、早期発見、早期対応の観点からアンケートや教育相談等の面談を活用しながら予防に努め、いじめを発見したら組織的に対応できるチームを学校内に設置していきたい。学力向上については、各学校で学力向上推進プランを策定推進しており成果の出た学校の取り組みを共有し実践していきたい。併せて家庭学習強化は不可欠で保護者の意識を高めることを主眼に捉えた施策を展開していきたいと考えております。

問 歌碑建立に向けた検討の進捗状況を伺う。

教育部長 西原町に関する琉歌について文献等の調査を行っており、今後は文化団体や有識者の方々の意見も伺いながら総合的に検討していきたいと考えております。

生涯学習課長 琉歌には土地や人物を称えた歌、歴史的な伝説が詠まれている歌などがあり、その魅力や歴史を後世に伝え地域への愛着を生み出す力があると考えます。現在、本町にゆかりのある作者、地域に伝わってきた伝統的な舞踊、行事等で使われた歌等の文献的な調査をしております。基本的な調査を行ない、その後、総合的に検討してみたいと思っております。

問 新聞等で宮古島のトーガニアヤグ、石垣島の安里屋ユンタ等、県内の歌碑建立が紹介されております。沖縄振興推進交付金（一括交付金）を活用し、毎年一基ずつ建立することを検討してみてはどうだろうか。

総務部長 沖縄振興推進交付金（一括交付金）を活用しての歌碑建立については、他の市町村の状況も十分チェックしたうえで検討していきたいと考えております。

町内唯一の歌碑「梅の香り」（在小那覇）

◇坂田小学校の通学路
◇西原町災害避難訓練
◇区画整理事業

大城清松　議員

問 浦添西原線県道38号線の拡張工事に伴う横断歩道の設置場所について、県から説明はあったか。現在のより何ヶ所増えるのか、設置場所についてお聞かせください。県道29号線もお願いします。

建設部長 県道38号線は、坂田小学校グラウンド付近一か所、県道29号線の県営坂田高層住宅入り口、西原高校裏門一方通行の箇所、そこは大体、同じ位置に信号での交差点になり、上原側については、幡歯科前に交差点と横断歩道ができます。

問 東日本大震災被災地を見てお話を聞くことができました。津波の恐ろしさを意識しているはずの地域の40％が避難行動さえとっていない、5.9％が避難途中に自宅に戻って被災されているとのことでした。津波の意識のない私達西原町民は次世代を担う子供達にDVDなどを用いて津波の恐ろしさを意識させることが、これからの避難訓練につながると思います。

また、津波災害が予想される。地域に避難のできる構造物が無いのが気になります。避難のできる構造物が何ヶ所あるかお聞きします。

総務課長 防災意識の向上に、今DVDの提案がありましたが、学校については、防災訓練は常にやっていると思われます。

今後こういった教育を含めて、教育委員会と一緒に調整をしていきたいと思います。

総務部長 津波の災害が予想される臨海地域には、避難できる構造物がありません。

現在、一時避難場所として株式会社サンエーと協定を締結し、この一カ所のみとなっております。

問 西原町の人口が伸び悩んでいるのは、区画整理の遅れが原因の一つにあげられると思いますが。

町長 西原町第3次総合計画、第1次都市マスタープランの中での、将来人口フレームが達成できなかった原因について十分研究、調査をした上で今後の施策に生かしていくことは極めて重要であります。

単に面的な整備にとどまらず、用途区域、今後高層化も極めて大事な部分もあると思います。

用途区域の見直し、特にマリンタウン周辺の高層化ができない状況については課題として担当課にそれの研究をするように指示しています。

坂田小前交差点